

ハザードマップについて

災害が発生又は発生しそうな際には、迅速に避難をする必要があります。

自分は今被害を受ける可能性があるのか、被害を受ける可能性がある場合にはどうすればその被害を避けられるのかを判断する必要があります。

そのような時に使えるツールの一つにハザードマップがあります。ハザードマップとは自然災害による被害を予測して、その被害範囲を地図化したものですが、このハザードマップを見ることで、どのエリアであれば災害から身を守ることができるのかを判断することができます。

このようにハザードマップは災害から避難するために有効なツールであるのですが、一方で自然災害を予測することができないという課題が存在しているのも事実であり、ハザードマップを活用する際の注意点としてそのことを認識する必要があります。

想定を超える自然災害は常に発生する可能性があり、場合によってはハザードマップで危険とされていないエリアまで危険が及ぶ可能性があります。

ハザードマップを活用する際には、そのことを念頭において、ハザードマップで危険となっていないから絶対に被災しないという考えを持たずに、臨機応変に対応することが重要です。

